



# あまうち

舞鶴市立余内小学校  
令和6年度学校だより  
第12号  
令和7年1月31日発行

## 校区教育目標

自らの未来を切り拓く「生きる力」を  
身に付けた次代を担う児童生徒の育成

## 心からの思いを形に ～ 目標に向かって粘り強い努力を ～

『今までありがとう きらめく未来へ羽ばたけ6年生!』

2月22日(土)に6年生を送る会を実施する予定です。実行委員会でのスローガンを決め全学年・学級が同じゴールに向け歩みを進めています。



送る会の取組は、6年生にこの1年間どんなことをお世話になったのか、6年生への思いを振り返るところからスタートします。そして、その感謝の気持ちを送る会で伝えるのです。送る会が毎年素晴らしい取組になるのは、感謝したいと思う6年生の存在があり、その思いを伝えたいと願う下学年の思いが結びつくからです。そこに、最高学年に向けて、在校生のリーダーとしての責任を果たそうと、中心になって動く5年生のがんばりが加わるのです。行事の成功に向けての条件がそろっています。

1～5年生は、合唱や合奏、劇などで6年生への思いを表現します。そして、6年生はそんな下学年の思いを受け止め、最高学年としての思いを表現します。子どもたち一人一人は、声を響かせる、様々な楽器を奏でる、場に応じた声を出す、みんなと協力する、気持ちを合わせるなど、4月から身に付けてきた力、送る会に向けての取組で身に付けた力を出し切ろうとがんばるのです。

ところで、先日、大阪国際女子マラソンが開催され、社会人1年目の小林香菜選手が、日本歴代10位となる記録で2位に入りました。テレビ観戦をしていたのですが、途中先頭グループから遅れ、画面から見えなくなっていました。どんどん遅れていくのだろうと思いながら見ていたら、逆に、どんどん姿が大きく映し出され、ラスト800mで逆転、見事2位となりました。最後まであきらめない粘り強い気持ち、精神的な強さ、自分の力を出し切る姿は、本当に素晴らしいものでした。

送る会の成功に向けて、自分たちの目標に向けて、最後まで粘り強く努力し、満足感・達成感・成就感を心から感じられる送る会をつくりあげてくれることを、心より願っています。

卒業式までに6年生が登校する日、修了式までに1年生から5年生が登校する日が、あと30日となりました。限られた日々ではありますが、次のステージに向け、力を蓄えるべく、一步一步進んでいきたいと思えます。

保護者・地域の皆様、まだまだ寒い日が続きますが、体調管理に十分ご留意なさってお過ごしください。2月もご協力・ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

校長 藤原 篤美  
教職員 一同

## お世話になりました。よろしくお願いいたします。

12月と1月末で、自治会の会長様が任期を終えて交代されました。令和6年度の自治会長様には、登下校の見守りや毎月の学校だよりの回覧をお世話になりました。心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

令和7年度の新自治会長様には、いろいろとお世話になることと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



## 2月の行事予定



日	曜	学校行事	PTA 等
1	土		
2	日		
3	月	クラブ⑥ 読み聞かせ1年	
4	火		
5	水	支援学校との交流 たんぽぽ学級① 4年②	茶道教室
6	木		
7	金	読み聞かせ2年	子育て支援協議 会理事会
8	土	市美展 連合作品展	
9	日	市美展 連合作品展	
10	月	委員会⑥ 読み聞かせ1年	
11	火	建国記念の日	
12	水	代表委員会	茶道教室
13	木	児童集会	
14	金	読み聞かせ2年	SGV 地域責任 者会議 PTA 本部役員選 挙結果報告
15	土		
16	日		
17	月	振替休業日	
18	火	ましまず班活動②	
19	水		茶道・生け花教 室
20	木	図書ポラ	
21	金	6年生を送る会準備⑥ 読み聞かせ2年	
22	土	6年生を送る会①～④ お弁当 全校5校時下校	
23	日	天皇誕生日	6年学年行事
24	月	振替休日	
25	火		
26	水	立会演説会① SGV 参観⑤	生け花教室
27	木		
28	金	読み聞かせ2年	

## 3・4月の主な行事予定

※都合により変更する場合があります。

### 3月

- 3日(月) 委員会 最終
- 6日(木) 児童集会
- 7日(金) ましまず班ありがとうの会
- 10日(月) クラブ 最終
- 12日(水) ありがとう集会
- 14日(金) 給食終了
- 17日(月)～短縮4校時
- 19日(水) 卒業証書授与式
- 21日(金) 修了式



### 4月

- 7日(月) 始業式
- 9日(水) 入学式
- 26日(土) 授業参観日
- 30日(水) なかよし遠足 お弁当



### ☆6年生を送る会について☆

卒業する6年生に感謝の気持ちを伝えるために、今年度も6年生を送る会を下記のとおり実施します。

当日は給食がありませんのでお弁当の準備をお願いいたします。

- 1 日時  
令和7年2月22日(土)  
8:45～12:15

- 2 実施について  
保護者参観は入れ替え制で実施します。入れ替えのアナウンスをいたします。スムーズな入れ替えにご協力ください。

先日、配信いたしました「6年生を送る会のご案内」をご確認ください。

## アルミ缶回収ご協力いただき

### ありがとうございます。

本校では、年間を通してアルミ缶回収を行っています。体育館前駐車場の上り棒横にアルミ缶回収場所を設置しています。収益金はPTA特別会計の収入となります。ご家庭にアルミ缶がございましたら、本校のアルミ缶回収にご協力いただきますようお願いいたします。

なお、4月～11月までの収益金は、214,800円となりました。ありがとうございます。

今年度は、体育館のワックス作業の費用として使用させていただきました。



転出入の情報がありましたら

お知らせください。

年度末が近づき、令和7年度の準備を進めています。

学級編成にかかわって、児童の転出入の把握に努めています。つきましては、地域の中で転出入の情報がありましたら学校までお知らせいただきますようお願いいたします。

# 第2回いじめアンケートの結果について

**いじめは人として絶対に許されない行為である。**

6月の「いじめ対策強化月間」に行ったアンケートに続き、本年度2回目のいじめアンケートを11月に実施しました。このアンケートは、いじめの早期発見・早期対応に活かすことを目的として行っています。項目については前回までと同様の9項目です。

それぞれの項目の認知件数は、以下のとおりです。( )は6月の件数です。

- 1 冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。30(49)
- 2 仲間外れ、集団による無視をされる。12(6)
- 3 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。12(15)
- 4 ひどくぶたれたり、叩かれたり、蹴られたりする。3(9)
- 5 金品をたかられる。1(0)
- 6 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。4(5)
- 7 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。5(6)
- 8 パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる。0(1)
- 9 その他 0(0)



上記の設問に対して、「ある」「ない」を選択し、「ある」と答えた場合には、その内容を記述し、さらにその行為の継続性を確認しました。その後すぐに回答をもとに内容を一つ一つ丁寧に聞き取りを行い、いじめに該当するか検討しました。今回のアンケートでの認知件数は、60件(6月は98件)でした。認知した事象については解消に向けての取組を行い、その後の様子を把握しています。

6月に比べると全体の認知件数が減少し、ほとんどの項目が6月に比べ減少しています。しかし、「冷やかしかからかい、悪口」(1の項目)と「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりするなどの暴力」(3の項目)が多いという結果となりました。相手の気持ちを考えることや自分がされたら嫌なことをしないとといった指導を今後も引き続き行っていきます。

11月の個人面談では、6月に認知した98件の事象についての追跡調査を行い、98%が解消(3か月以上いじめがなく、被害児童の嫌な思いもない状態)しています。しかし、2%の事象については、行為はやんでいます、今後も見守りを行っていきます。

## \* 全教育活動の中で人権尊重の精神を培う \*

いじめは、決して特別な現象ではなく、いつでもどこでもだれにでも起こる可能性があること、いじめる側といじめられる側が入れ替わること、ネットいじめは陰湿化・深刻化していること等、現在のいじめの特徴を踏まえ、児童自身がいじめについての理解を深め、いじめを見てはやしたてたり、見て見ぬふりをしたりする傍観者ではなく、いじめの防止に、正義と勇気を持って立ち向かえるような指導や支援、活動を行いたいと考えています。

### いじめアンケートの結果を踏まえた学校の取組

- 1 日頃から児童とのコミュニケーションを深め、一人一人の思いに寄り添うとともに、教師の人権意識・人権感覚をより一層みがき、問題の早期発見・早期解決に向けて取り組む。問題が解決したとみられる場合も、継続して十分注意を払う。
- 2 どの児童も落ち着ける「居場所づくり」を進め、一人一人のよさが発揮でき、お互いが認め合える学級づくりを進める。
- 3 すべての児童が活躍できる場面を作り、一人一人に共感的にかかわり、そのがんばりを肯定的に評価することで「自己有用感」、「自尊感情」をはぐくむ。
- 4 様々な体験活動を通して、思いやりの心や正義感を育て、よりよい人間関係づくりができるような取組を進める。(ましまず班活動の充実、ましまずフェスタの継続開催 など)
- 5 学校、家庭、地域社会及び関係諸機関との連携を図り、いじめを許さない学校づくりに努める。

今後も、子どもたちの健全な育成のため、保護者の皆様、地域社会の皆様には、本校教育活動への変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。